

1 検討会開催に至るまでの経緯

○19年12月24日 独立行政法人整理合理化計画(閣議決定)

「運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。」

○20年 3月 9日 第1回私のしごと館のあり方検討会

○20年 3月27日 第2回私のしごと館のあり方検討会

○20年 4月 9日 第3回私のしごと館のあり方検討会

座長: 加藤丈夫富士電機ホールディングス(株)相談役

○20年 5月21日 行政減量・効率化有識者会議(委託の考え方を説明し、了承される。)

○20年 9月 1日 包括的民間委託の開始

(株)コングレが受託(契約期間:平成22年8月末まで)。「5年後の収支率5割」を目標)

○20年 9月17日 行政減量・効率化有識者会議において方針(大綱)取りまとめ

(「私のしごと館業務」は廃止する。施設そのものは、直ちに取り壊すことなく、国において一定期間をかけ、有効利用の観点から検討。)

○20年12月 1日 ・第4回私のしごと館のあり方検討会(報告書の検討)

①国の事業としての私のしごと館事業を廃止、②委託契約期間(平成22年8月まで)を遵守、③建物を取り壊さず、有効活用に向けて検討

・行政支出総点検会議の最終報告取りまとめ(しごと館については、業務を廃止するとともに、施設は望ましい利用形態や売却先を検討すべき。)

○20年12月10日 舩添大臣・甘利行政改革担当大臣会談

(私のしごと館は、廃止。ただし、無駄なコストを最小にするとの観点から、売却先を探すことも含めた施設の有効活用方策を検討。早期に売却できるのであれば、委託契約期間終了前に売却もあり得る。)

○20年12月24日 雇用・能力開発機構の廃止について(閣議決定)

私のしごと館業務は、遅くとも平成22年8月までに廃止する。その際、売却を含めた建物の有効活用に向けた検討を行うとともに、廃止に伴うコストの最小化という点に配慮する。